

経済・金融 フラッシュ

中国経済：来週にかけての注目 ポイント ～政府の公式な製造業PMIなど3点に注目

経済調査部門 上席主任研究員 三尾 幸吉郎

TEL:03-3512-1834 E-mail: mio@nli-research.co.jp

- 先週中国では、英金融大手HSBCが発表した5月の製造業PMIが大きく落ち込み、景気拡大・後退の分岐点となる50を割り込んだことから、市場では景気悪化懸念が一気に広がった。
- 今週末から来週にかけては、6月1日に中国政府の公式な製造業PMIが発表されるほか、8日には貿易統計、9日には工業生産、小売売上高、固定資産投資、消費者物価と、5月の主要経済指標が次々に発表される予定である。今回の注目ポイントとしては、①政府の公式な製造業PMIも50を割り込むか、②電力消費の伸び悩みで気になる工業生産の動向、③消費者物価の3点を挙げたい。

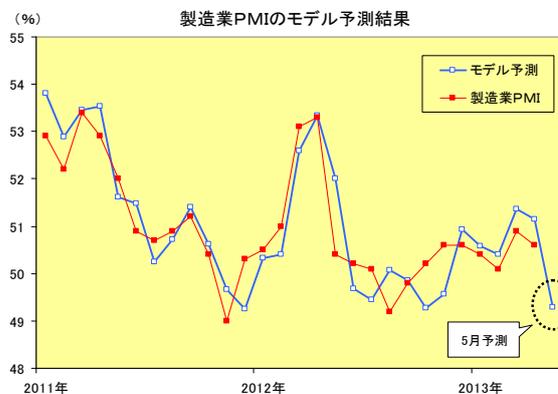
○来週にかけて発表予定の主要経済指標

発表 予定日	経済指標		当研究所の予測値		前回	
				対象期		対象期
6月1日	製造業購買担当者指数(PMI)	(%)	(予測していない)	2013年5月	50.6	2013年4月
6月8日	貿易収支	(百万ドル)	27,048	2013年5月	18,161	2013年4月
	輸出総額	(前年同期比)	11.4%	2013年5月	14.7%	2013年4月
	輸入総額	(前年同期比)	7.2%	2013年5月	16.8%	2013年4月
6月9日	消費者物価指数	(前年同期比)	2.3%	2013年5月	2.4%	2013年4月
6月9日	工業生産(規模以上、付加価値ベース)	(前年同期比)	9.1%	2013年5月	9.3%	2013年4月
6月9日	小売売上高	(前年同期比)	13.0%	2013年5月	12.8%	2013年4月
6月9日	固定資産投資(除く農家の投資)	(前年同期比)	20.7%	2013年1-5月期	20.6%	2013年1-4月期

①製造業購買担当者指数(PMI) [発表予定日:6月1日(土)]

6月1日(土)に、中国国家統計局サービス業調査センターと物流購買連合会は5月の製造業購買担当者指数(PMI)を発表する予定である。この政府の公式なPMIは、HSBCのものと変化の方向が一致することが多いため(不一致は数ヶ月に一回程度)、5月は低下する可能性が高い。また、最近急激に進んだ人民元高が、サンプルに中小企業が多いHSBCのPMIでは大きくマイナス寄与した模様だが、今回のPMIはサンプル数が3千社と多いことから異なる動きを示す可能性もあり、その結果が注目される。なお、当研究所のモデル予測値は50割れとなった(図表-1)。

(図表-1)



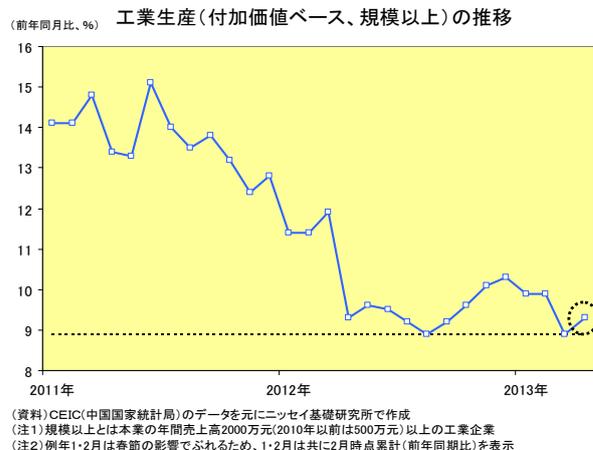
(資料)CEICのデータを元にニッセイ基礎研究所で作成

(注)モデル予測値は、先行性が見られる新規受注や季節調整のクセなど事前に把握できる数値を説明変数として、ニッセイ基礎研究所が独自開発したモデルで機械的に予測した値。なお、2013年1月からサンプル数が増えた影響で季節調整のクセが変化するリスクがあり、当面は不安定となりやすい点には要注意。

②工業生産〔発表予定日:6月9日(日)〕

9日(日)には、中国国家统计局が5月の工業生産(付加価値ベース、規模以上)を発表する予定である。前回発表の4月は前年同月比9.3%増と、前月の同8.9%増を0.4ポイント上回った(図表-2)。工業生産の先行指標となる電力消費量の動きを見ると、例年5月は4月より消費量が増える傾向があるにも拘わらず、27日までの平均消費量は4月平均を下回る水準で推移していることなどから、5月の工業生産は4月より若干鈍化して前年同月比9.1%増と予想している。

(図表-2)



③消費者物価〔発表予定日:6月9日(日)〕

また、9日(日)には、5月の消費者物価も中国国家统计局から発表される。4月の消費者物価は、前年同月比2.4%上昇と3月の同2.1%上昇を0.3ポイント上回った(図表-3)。4月に消費者物価が上昇したのは、3月に前年同月比10.3%の下落となった生鮮野菜が、4月には同5.9%の上昇に転じたことが主因である(図表-4)。今回発表の5月は、アブラナやトマトが2割前後下落するなど生鮮野菜が概ね下落していることから(20日時点)、食品が消費者物価の上昇を抑制した可能性が高い。但し、10日からガソリン・ディーゼル油が値上げされたことなどを勘案すると、今回の上昇率の低下は小幅に留まりそうで、5月の消費者物価は前年同月比2.3%上昇と予想している。

(図表-3)



(図表-4)

消費者物価(分類別、前年同月比) (単位:%)

	消費者物価		品目別				消費品 (モノ)	サービス
	食品	うち 生鮮野菜	衣類	交通通信	居住			
2012年1月	4.5	10.5	23.0	3.3	0.2	1.9	5.5	2.2
2012年2月	3.2	6.2	6.5	3.8	0.1	2.1	3.9	1.5
2012年3月	3.6	7.5	20.5	3.8	0.3	2.0	4.4	1.5
2012年4月	3.4	7.0	27.8	3.6	0.3	1.8	4.1	1.7
2012年5月	3.0	6.4	31.2	3.1	▲0.1	1.6	3.6	1.7
2012年6月	2.2	3.8	12.1	3.3	▲0.4	1.6	2.3	1.9
2012年7月	1.8	2.4	8.0	3.3	▲0.9	2.1	1.7	2.0
2012年8月	2.0	3.4	23.8	3.1	▲0.8	2.2	2.1	2.0
2012年9月	1.9	2.5	11.1	3.4	▲0.2	2.3	1.8	2.3
2012年10月	1.7	1.8	1.1	2.7	0.1	2.5	1.5	2.3
2012年11月	2.0	3.0	11.3	2.3	0.0	2.6	1.9	2.3
2012年12月	2.5	4.2	14.8	1.9	0.0	3.0	2.5	2.5
2013年1月	2.0	2.9	2.6	2.5	▲0.3	2.9	2.0	2.2
2013年2月	3.2	6.0	10.0	2.1	0.2	2.8	3.3	3.1
2013年3月	2.1	2.7	▲10.3	2.3	▲0.3	2.9	1.7	3.1
2013年4月	2.4	4.0	5.9	2.5	▲1.1	2.9	2.2	2.9

(資料)CEIC

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。